

2枚

6/29 (水) 福島地域支援室9時定例レク概要

<説明内容>

①プラント関連パラメータ(6月29日 6:00現在)【口頭説明】

②プラント状況、本日の作業予定について【口頭説明】

- 循環注水冷却の新たな漏えい箇所について
- ・移送ホースにピンホール2箇所発見

<1号機>

- T/B地下、トレンチの水位について
- SFP代替冷却設備設置工事について
- R/B地下階の水位について
- 建屋カバー設置工事について
- ・クレーン移動に干渉のため重油タンクの撤去

<2号機>

- トレンチ立坑からプロセス主建屋への移送について
- トレンチ立坑、T/B地下階の水位について
- 格納容器への窒素封入について

<3号機>

- SFP代替冷却浄化系の設置について
- トレンチ立坑、T/B地下階の水位について

<4号機>

- T/B地下階の水位について
- SFPへの注水について
- SFP底部支持構造物設置工事について
- ・コンクリート打設
- 原子炉建屋への入域について

<集中廃棄物処理施設>

- プロセス主建屋の水位について
- 雑固体容廃棄物減容処理建屋の水位について

<その他>

- 循環型海水浄化装置について
- 飛散防止剤の散布について
- リモートコントロール重機によるガレキ撤去について
- 港湾関連施設の改修工事について
- ・カーテンウォール撤去作業継続予定
- 大型タンク設置作業について
- 防潮堤の設置工事について

<主な質疑>

Q. ピンホールは場所を。

A. 移送ポンプの出口付近、詳細は確認中。

Q. ポンプと流量調整弁との間か。

A. そうかと思う。

Q. 漏れた水はどうなっているのか。

A. 既に仮補修は済んでおり、運転に影響はない。

Q. 「にじみ」はどうなったか。

A. まだ経過観察中。

Q. ピンホールは元々あったものか。

A. 昨日の確認時にはなかった。

Q. 「にじみ」の箇所と近いのか。

A. そう遠くではない場所と思われる。

Q. ピンホールの発見状況は。

A. 「にじみ」の確認中かと思うが、確認時間は08:10。

Q. 2uの窒素封入後の状況は。

A. パラメータ、モニタリングとも大きな変動はない。

Q. 防潮堤の進捗率85%だが、6月末に終わるのか。

A. 完了に向け鋭意作業中である。

以上

6/29 (水) 福島地域支援室 11時15分臨時レク概要

<説明内容>

① 発電所敷地内における空气中放射性物質の核種分析結果
(2号機窒素注入実施時)【資料配付】

② 作業進捗状況について【口頭説明】

○ 水処理設備関係について

- ・ 10:45 水処理装置停止
- ・ 11:00 フラッシング開始
- ・ 10:59 停止、ホース交換作業実施

(・ 8:10頃のピンホール発見状況: 社員がパトロール中に発見)

○ 4uR/B5 階入域予定について

<主な質疑>

Q. ピンホールと昨日のにじみ箇所の位置関係は?

A. 昨日のにじみ箇所付近(少し先)にピンホール二カ所を確認。

Q. 漏えい量は?

A. 把握していない。

Q. 循環冷却は停止しているということか?

A. 処理水による注水は停止している。

原子炉への注水は現在ろ過水側から行っている。

Q. ホースの交換によってにじみについても解消されるのか?

A. そのように考えている。

Q. ピンホール発見後、他箇所の点検も行ったのか?

A. 実施したと聞いている。

Q. 原因については?

A. 確認できていない。

Q. 交換するホースは新品か?

それとも他箇所で使用していたものか?

A. 新品に交換する。

Q. 循環冷却再開の見通しは?

A. ホース交換後、健全性確認を行い、その後再開予定。

設備全体の健全性向上についても検討している。

以上

6/29 (水) 福島地域支援室13時45分臨時レク概要

<説明内容>

①水処理設備関係について

○13:33循環注水冷却再開

○9:30頃、水漏れ確認

(水処理高塩分タンクドレンラインキャップ外れ)

→10:30頃、キャップ取付実施し水漏れ停止

※速報につき漏えい量や原因に関しては調査、確認中

<主な質疑>

Q. キャップは本来閉じているものなのか?

A. その通り。

Q. 運転に影響はあったのか?

A. 詳細は確認中。

Q. 漏えい量は?

A. 詳細は確認中。

以上

6 / 29 (水) 福島地域支援室15時定例レク概要

<説明内容>

- ①当社新旧社長の福島県内自治体訪問について【メモ配付】
- ②福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ【資料配付】
(6月29日 午前10時現在)
- ③プラント関連パラメータについて【口頭説明】
- ④作業状況等について
 - 汚染水装置 ベッセル取替え 14:13再開
 - 4uの5Fへの入域時間 13:28~14:21
線量などの詳細は取りまとめ中

<主な質疑>

- Q. 新旧社長の訪問は自治体だけで被災者にはないのか。
A. 今回は時間の関係もあり、自治体のみになる。
- Q. 報道陣のぶら下がりは。
A. 両日の最後の訪問後に考えている。

以上

6/29 福島地域支援室における17時15分臨時レクおよび20時定例レク概要をお知らせします。

6/29 (水) 臨時レク概要 (17:15~)

<説明内容>

- ① 「福島第一原子力発電所における高濃度の放射性物質を含むたまり水の貯蔵及び処理の状況について(第1報)」【資料配付】
- ② 「当社福島第一原子力発電所における核種分析結果の嚴重注意に対する対応について(続報6)」【資料配付】
- ③ 「福島第一原子力発電所敷地内における空気中の放射性物質の核種分析の結果について(第九十六報)」【資料配付】
- ④ 「福島第一原子力発電所の海水からの放射性物質の検出について(第九十八報)」【資料配付】
- ⑤ 「福島第一原子力発電所取水口付近で採取した海水中に含まれる放射性物質の核種分析の結果について(6月28日採取分)」【資料配付】
- ⑥ 「福島第一原子力発電所沖合における海底土の放射性物質の核種分析の結果について(続報4)」【資料配付】
- ⑦ 「集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果」【資料配付】
- ⑧ 本日の作業状況について【口頭説明】
 - 水処理装置について
 - ・ 10:45 フラッシング実施のため停止
 - ・ 14:13 運転再開
 - ・ 14:49 サイトバンカ建屋の除染装置タンクでの水漏れ警報発生
 - 仮設貯蔵タンクについて
 - ・ 5, 6号機の低レベル用の仮設貯蔵タンク(12, 200m³)が満杯状態で明日以降メガフロートへ移送する予定
 - 4号機入城実績について
 - ・ 作業人数は、当社社員2名、協力企業作業員4名で合計6名
 - ・ 被ばく線量：最大0.31mSv
 - ・ 5階オペフロエリアの空間線量を測定
 - ・ 5階南側フロアの線量が、約0.2~0.5mSv
 - ・ SFP表面線量：約3.7mSv

<主な質疑>

- Q. サイトバンカ建屋で14:49警報が発生し手動停止した時間は。
A. 14:53手動停止した。
- Q. タンクから直接漏えいしたのか。
A. 詳細は確認できていない。
- Q. 循環注水は継続してできているのか。
A. 処理水タンクに約2,000m³の処理水があり、400m³/日とすると約4日位は注水が可能。また、ろ過水タンクもあるため注水は問題ない。
- Q. メガフロートは明日から使用するのか。
A. 使用したいと考えている。

以上

6/29 (水) 20時定例レク概要

<説明内容>

- ① 「福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ」
(6月29日 午後3時現在) 【資料配付】
- ② プラント関連パラメータ
(6月29日 18:00現在) 【口頭説明】
- ③ プラント状況、本日の作業状況について【口頭説明】

- <1号機>
 - 原子炉注水状況について
 - R/B地下階の水位について
 - 建屋カバー設置工事について
 - ・重油タンクの撤去を実施
- <2号機>
 - 原子炉注水状況について
- <3号機>
 - 原子炉注水状況について
 - SFP代替冷却装置設置作業について
 - ・コンプレッサー2次系の水張り試験運転実施
 - ・明日1次系の水張り試験運転実施後、本格運用開始予定
 - T/B地下階→プロセス主建屋への移送について
- <4号機>
 - R/B5階への入域について
- <5,6号機>
 - 仮設タンクへ移送済の滞留水のメガフロートへの移送について
 - ・明日午後から開始予定
- <各号機T/B地下階、トレンチ立坑水位について>
- <その他>
 - プロセス主建屋の水位について
 - 雑固体廃棄物減容処理建屋の水位について
 - 大型タンク輸送・作業について
 - 水処理装置の運転・作業等の実績について
 - ・ピンホール、フランジ部分からの漏えい状況について
 - ・14:49サイトバンカ建屋において水の漏えいを示す警報発生
 - 14:53手動にて停止
 - ※原因については、タンク上部マンホールから水が溢れ、ドレンパン(受け皿)へ水が流れ込んで、警報が発生
 - 拭き取り実施(漏れた水は10の2乗オーダーの低レベル汚染水)
 - 18:45運転再開
 - ・18:59警報発生→手動停止
 - ※原因については調査中

<主な質疑>

- Q. 1号原子炉への注水量が減った原因は?
- A. 流量が少量のため、調整が難しい場合がある。

- Q. 流量はどの程度まで減ったのか?
- A. 3m³/hまでである。
現在は3.5m³/hに調整済。

- Q. 18:59に発生した警報はどの部分の警報か?
- A. いずれかの系統における警報であるが、状況を確認中である。

- Q. 水漏れを知らせる警報か?
- A. 確認がとれていない。

- Q. RO装置については停止しているのか?
- A. 停止はしていない。タンクに溜まった水を処理している。

以 上